



戦略的イノベーション創造プログラム

Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program 第3期課題

ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築

「デジタル・シティズンシップ・シティ： 公共的対話のための学校」2年次報告会

2025 **3.20** (木・祝) 13:00-16:50

会場：対面 釧路市生涯学習センターまなぼと幣舞 特別会議室（受付は12:30～）
：zoom配信（事前登録をお願いします）

デジタル・シティズンシップ・シティ（DCC）の社会実装に向けた2年次の成果と課題を報告する。とくに全国展開に向けた北海道での先行実践の概要を授業者からご報告いただくとともに、来年度のカリキュラム・運営体制をめぐって意見交換する。

研究開発責任者挨拶（13:00～13:05）

第1部 DCCの成果と課題（13:05～14:40）

- (1) 概要－遠隔授業のデザインと子どもの学び－
- (2) 不登校傾向の児童生徒の支援体制の構築
- (3) 市民の学習参加及び国内外の参加体制の構築
- (4) 遠隔授業支援アプリ「TSUNAGU」の開発
- (5) 遠隔授業コーディネーター（TI）の役割
- (6) 質疑応答

第2部 北海道実践報告（15:00～16:00）

- (1) 北海道の市町，魅力探し隊（小4）
- (2) 湿原の太陽光パネルは環境を守るのか，壊すのか（小5・中3）
- (3) 離島空港の役割とはなにか，拡張すべきか（小5）
- (4) 質疑応答

第3部 パネルディスカッション～DCCのミライを語る～（16:00～16:45）

総括コメント（16:45～16:50）

【主催】SIP第3期研究開発テーマ「デジタル・シティズンシップ・シティ：
公共的対話のための学校」（研究開発責任者：草原和博）

【後援】国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

右のQRコード等からお申し込みいただけます。

オンライン参加希望者には、お申し込み後、接続情報をお知らせします。



登壇者

研究開発責任者挨拶

草原和博(広島大学)

第1部 DCCの成果と課題

(1) 概要—遠隔授業のデザインと子どもの学び—

川本吉太郎(広島大学), 吉田純太郎(広島大学大学院), 森田聡(東広島市教育委員会)

(2) 不登校傾向の児童生徒の支援体制の構築

三井成宗(広島大学)

(3) 市民の学習参加及び国内外の参加体制の構築

滝沢潤・金鍾成(広島大学), 小迫賢志(東広島市立高美が丘小学校)

(4) 遠隔授業支援アプリ「TSUNAGU」の開発

渡辺健次・隅谷孝洋(広島大学), 横山大城・植田達也(ソフトバンク株式会社)

(5) 遠隔授業コーディネーター(TI)の役割

南浦涼介・川口広美(広島大学)

(6) 質疑応答

第2部 北海道実践報告

(1) 北海道の市町, 魅力探し隊(小4)

佐々木悠真・小野優斗(札幌市立白楊小学校), 江渡明香(釧路市立清明小学校)

(2) 湿原の太陽光パネルは環境を守るのか, 壊すのか(小5・中3)

中村亮太(釧路町立別保小学校), 佐藤健翔(浜中町立霧多布中学校)

(3) 離島空港の役割はなにか, 拡張すべきか(小3以上)

宇ノ木啓太(広島大学), 佐野留奈(奥尻町立奥尻小学校)

(4) 質疑応答

第3部 パネルディスカッション ~DCCのミライを語る~

パネリスト:

西村訓弘(三重大学・SIPポスコロ・プログラムディレクター), 影山吉則(伊達市教育委員会教育長),

徳満謙三(東広島市教育委員会情報教育推進室長), 玉井慎也(北海道教育大学釧路校講師),

小野優斗(札幌市立白楊小学校), 佐々島忠佳(北海道教育大学釧路校2年次生)

話題提供・コーディネーター: 草原和博

総括コメント

西岡加名恵(京都大学・ポスコロ・サブ課題Aサブプログラムディレクター)

【主催】 SIP第3期研究開発テーマ「デジタル・シティズンシップ・シティ:

公共的対話のための学校」(研究開発責任者: 草原和博)

【後援】 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

右のQRコード等からお申し込みいただけます。

オンライン参加希望者には, お申し込み後, 接続情報をお知らせします。

